

漢字力・国語力は成功のための第一要件

書物から知識を吸収する力は国語力です。ですから、国語力が、すべての教科学習の原動力、学力向上の推進力になることは周知の事実といえます。

米国の人間工学研究所では大々的な調査を行い、これを統計的に実証しています。調査は、中学生、高校生、大学生から、工場勤務者、大会社幹部、社長クラスまで、実に40万人もの人に対して実施しています。その結果、学生においては、成績の高低が国語の力と正比例していること、また、社会人においても、地位の上下、収入の多少が国語の力と正比例していることが明らかにされたのです。

つまり、「国語力は、学校においても、社会においても、成功のための第一の要件である」ことが証明されたというわけです。

ともあれ、世界の各国で、あらゆる教科の土台になる国語の教育に力を入れている状況があります。たとえば、ドイツでは、小学校低学年の国語の授業時間は全体の半分近くを占め、理科の授業は四年生から始まります。これは、国語の学力をつけること、すなわち教科書

の読解力をつけることを優先するためであり、実に合理的なカリキュラムを実践しているわけです。

ひるがえって、日本の国語教育はどうなっているのでしょうか。ご承知のとおり、平成14年度より、学校週五日制が完全に実施されるのにもない、教育過程が大きく変わりますが、国語科については、小学校一年から中学校三年まで全学年にわたり、その授業時間が週当たり一時間、年間で三十五時間も削減されることが決まっています。

それでなくても、近年、日本の子供の学力低下が懸念されているのに、ここでまた、国語の授業時間を減少させるのですから、何をかいわんやです。こうした現況を、親として、きちんと把握し、しかるべき対策を講じることが肝心であると思います。